

愛媛県の試験研究機関で初！ 糖尿病対応米の臨床試験

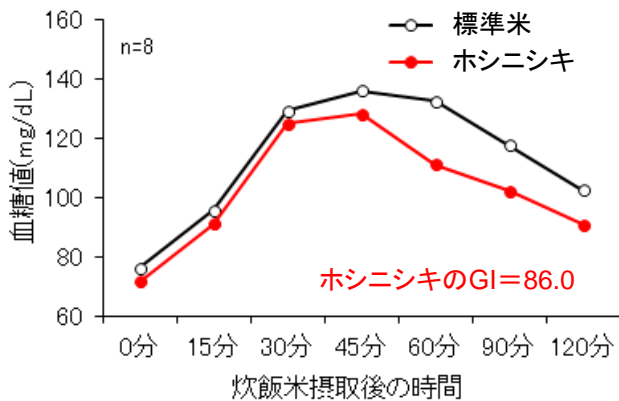
農林水産研究所

健常者を対象とした場合、高アミロース米‘ホシニシキ’炊飯米のグリセミックインデックス(GI)※は86~87.2で、一般の品種よりやや低GIな米であることがわかりました。

※グリセミックインデックス...食後血糖値の上昇度を示す指標で、GI値が低いほど血糖値の上昇が遅い。

糖尿病入院患者を対象とした場合、‘ホシニシキ’の炊飯米は標準米より有意に持続血糖値が低くなりました。

現在、‘ホシニシキ’を用いたさまざまな加工品について検討しています。



炊飯米摂取後の血糖値の変化 (健常者)
(2016年度日本栄養・食糧学会)

‘ホシニシキ’を用いた加工品

高アミロース米の摂取が持続血糖測定値に及ぼす影響(糖尿病患者)

	持続血糖測定値 (mg/dL)		
	標準米	ホシニシキ	有意差検定
平均値±標準偏差	148.3±47.4	142.8±49.1	** (Paired T-test)
中央値 (Q1-Q3)	144.9 (138.3-150.7)	135.8 (130.5-148.2)	** (Wilcoxon検定)

(2020年度日本栄養・食糧学会)

Q1:最低値、Q3:最高値。

有意差検定の欄の**は統計検定で標準米とホシニシキに有意な差があることを示す。